

注3

**大学番号：306**

[平成25年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

**認可**

関西国際大学保健医療学部

注2

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人濱名学院

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 横田 利久

電話番号 0794-84-3500

（夜間） 0794-85-2288

F A X 0794-85-1102

e-mail pres-sec@kuins.ac.jp

# 目次

保健医療学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人濱名学院

## (2) 大学名

関西国際大学

## (3) 大学の位置

〒673-0521

兵庫県三木市志染町青山1丁目18番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学部長	(サトウ レイコ) 佐藤 禮子 (平成25年4月)		
学科長等		(シミズ レイコ) 清水 玲子 (平成25年4月)	学科運営強化のため任用 (25)
		(エビス マスミ) 蛭子 真澄 (平成26年4月)	前任者体調不良による変更 (26)
		(ミヤウチ タマキ) 宮内 環 (平成27年4月)	前任者体調不良による変更 (27)
		(マツダ ノブコ) 松田 宣子 (平成27年9月)	前任者体調不良による変更 (28)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科  学士(看護学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	80人	-	80人	-	80人	-	80人	-			1.18倍	
志願者数	356 (-) [-]	-	391 (-) [-]	-	262 (-) [-]	-	265 (-) [-]	-				
受験者数	342 (-) [-]	-	377 (-) [-]	-	248 (-) [-]	-	253 (-) [-]	-				
合格者数	130 (-) [-]	-	135 (-) [-]	-	149 (-) [-]	-	147 (-) [-]	-				
B 入学者数	104 (-) [-]	-	94 (-) [-]	-	91 (-) [-]	-	92 (-) [-]	-				
入学定員超過率 B/A	1.3		1.17		1.13		1.15					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] (-) 104	[ - ] - -	[ - ] (-) 94	[ - ] - -	[ - ] (-) 91	[ - ] - -	[ - ] (-) 92	[ - ] - -	
2年次	/		[ - ] (-) 102	[ - ] - -	[ - ] (-) 94	[ - ] - -	[ - ] (-) 90	[ - ] - -	
3年次			/		[ - ] (-) 102	[ - ] - -	[ - ] (-) 94	[ - ] - -	[ - ] - -
4年次	/				[ - ] (-) 102	[ - ] - -	[ - ] (-) 102	[ - ] - -	[ - ] - -
計			[ - ] (-) 104	[ - ] (-) 196	[ - ] (-) 287	[ - ] (-) 378			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	104 人	2 人	平成25年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学1名、就職1名	1.9% %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	94 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0% %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	91 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	就職1名	1.1% %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	92 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0% %
合 計	381 人	3 人					0.8% %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	初年次教育	初年次セミナー	1春	1			6 7 2	3 2 2	7 6 2 3	4 +		申請時の教員退職の為(26) 教育内容の充実を図るため担当教員の増(27) 教員退職及び採用のため、担当教員の変更(28)		
		基礎演習	1秋	1			6 7 2	3 2 2	7 6 2 3	4 +		申請時の教員退職の為(26) 教育内容の充実を図るため担当教員の増(27) 教員退職及び採用のため、担当教員の変更(28)		
		学習技術	1春	1			+	2 3	1		1	申請時の教員退職の為(26) 教員退職の為、担当者の変更(27) 教員退職の為、担当者の変更(28)		
	第1外国語	基礎英語	1春		2								兼4 兼2 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
		総合英語 I	1春 1秋	2									兼4 兼2 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26) 全学共通科目の時間割調整のため開講時期変更(27)	
		総合英語 II	2春	2									兼4 兼2 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
		オーラルイングリッシュ I	1秋		1								兼2	
		オーラルイングリッシュ II	2春秋		1								兼1	
		オーラルイングリッシュ III	2春秋		1								兼1	
		インテンシブイングリッシュ I	1夏		1								兼2 兼1 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
		インテンシブイングリッシュ II	1冬		1								兼2 兼1 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
		(第2の外国語)	中国語 I	1春		2								兼1
			中国語 II	1秋		2								兼1
	中国語 III		2春		2								兼1 共通教育科目見直しによる科目の削除(25)	
	韓国・朝鮮語 I		1春		2								兼1	
	韓国・朝鮮語 II		1春 1秋		2								兼1 全学共通科目の時間割調整のため開講時期変更(27)	
	情報	コンピュータリテラシー演習	1春		1								兼2 兼1 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
		コンピュータ応用 A	1春秋		1								兼3 兼1 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
		コンピュータ応用 B	2秋 2春		1								兼2 兼1 教育内容の充実を図るため兼任教員の追加。 開講時期を調整し、2年秋に開講する(26)	
		コンピュータ応用 C	3春		1								兼1	
	スポーツ	生涯スポーツ I	1春		1								兼3	
生涯スポーツ II		2秋 2春		1								兼2 開講時期を調整し、2年秋に開講する(26)		
生涯スポーツ III		2春		1								兼2		
生涯スポーツ IV		2秋		1								兼3		

人間学総合教育科目	共通	人間学Ⅰ	1春・秋 1春	2				1	兼3	全学共通教育における教員組織の変更(25) 担当 今野 理恵(准教授) 平成25年6月提出予定	
		人間学Ⅱ	1春・秋 1秋	2				1	兼3 兼2	全学共通科目であり、順序性はない。 2キャンパスでの開講順序変更に伴う開講時期の入替え。 教員組織調整に伴う教員の変更(26)	
		リーダーシップ演習	1冬		1					兼2	申請時の教員退職の為(26)
	人間の理解	倫理と社会生活	1秋		2					兼1	
		教育と人間形成	1秋		2					兼1	
		異文化間コミュニケーション論	1春		2					兼1	
		比較宗教論	1春		2					兼1	
		日本国憲法	1春		2					兼1	
		人権と法	1秋		2					兼1	
		ボランティア論	1秋		2					兼1	
社会と生活	日本文化論	1春		2					兼1		
	北米と日本	4春		2					兼1		
	東南アジアと日本	4秋		2					兼1		
	東アジアと日本	4秋		2					兼1		
	近現代の歴史	4春		2					兼1		
	国際社会と政治	4秋		2					兼1		
	経済と生活	1秋 1春		2					兼1	時期を秋学期に変更し開講する(26)	
	社会階層と文化	1秋		2					兼1		
科学と生活	環境とエネルギー	2秋 2春		2					兼1	開講時期を調整し、2年秋に開講する(26)	
	生命と環境	2秋 2春		2					兼1	開講時期を調整し、2年秋に開講する(26)	
	生命と倫理	1秋		2					兼1		
	情報と社会	1春		2					兼1		
	災害と安全	1冬		2					兼2 兼1	教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26)	
	食と健康	1春		2					兼1		
	医療の科学	2秋 2春		2					兼1	開講時期を調整し、2年秋に開講する(26) 担当教員未定 平成27年10月に開講できるよう公募中(27)	
体験学習	スタロディバル	リサーチ入門	1秋		1				兼2 兼5 兼1	教育内容の充実を図るため兼任教員の追加(26) 履修者数の現状を鑑み、担当教員数の変更(27)	
		グローバルスタディⅠ	1冬		1				兼2		
		グローバルスタディⅡ	3夏		2				兼2		
		グローバルスタディⅢ	3夏		3				兼2		
専門基礎科目	人間と健康	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1春		2					兼1	
		形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1春		2					兼1	
		生化学	1春		1					兼1	
		薬理学	1春		1					兼1	
		臨床栄養学	1秋		1					兼1	
		免疫学	1春 1夏 1春		1					兼1	兼任教員就任遅延のため、開講時期を遅延(25) 兼任教員兼任のため、開講時期を亦
		病態学	1秋		1					兼1	
		疾病・治療論Ⅰ(内科系)	1秋		1					兼6	
		疾病・治療論Ⅱ(外科系)	1秋		1					兼6	
		疾病・治療論Ⅲ(精神/老年)	1秋		1					兼2 兼3	キャンパス科目における担当教員減(26)



専門教育科目		疾病・治療論Ⅳ（母性/小児）	1秋	1									兼2 兼1 兼2	ムバス科目における担当教員減(26) 担当教員の増(28)
		多専門職連携医療論	3春	1									兼7	
		遺伝学	1秋		1								兼1	
		生物学基礎	1夏 1夏 1春		1								兼1	兼任教員就任遅延のため、開講時期を遅延(25) 兼任教員並行のため、開講時期未定
		化学基礎	1夏 1春		1								兼1	担当教員未定 非常勤講師未着任のため、夏学期に開講できるよう公募中(27)
		心理学基礎	1春		1								兼1	
		人間と環境	家族社会学	2春		1							兼1	
			環境保健学	1秋	1								兼1	
			疫学	1秋	2								兼1	
			保健統計学	1秋	2								兼1	
			保健医療福祉行政論	3春		2							兼1	
		基盤看護学	基礎看護学概論	1春	2			2	1					担当教員退職の為(27)
			基礎看護方法論	1秋	2			1	1	2				担当教員退職の為(27)
			基礎看護技術Ⅰ（生活援助）	1秋	1			1	1	2				担当教員退職の為(27)
			基礎看護技術Ⅱ（治療援助）	1秋	1			1	1	2				担当教員退職の為(27)
			基礎看護技術Ⅲ（看護過程）	2春	1			1	1	2				担当教員退職の為(27)
			セイフティマネジメント	3春	1								兼1	
			看護マネジメント	3春	1								兼1	
			基礎看護学実習Ⅰ（早期体験実習）	1夏 1春	1			2	1	2	1	1	1	教員退職により担当者減。 時間割編成により夏に開講する予定としている(26)
			基礎看護学実習Ⅱ（看護援助過程）	2冬 2夏	2			1	1	2	2	1	3 4	2
	療養支援看護学	成人健康看護学概論	2春	2			3 1	1	1	1				教員採用による担当者増(27) 教員採用による担当者増(28)
		急性・重症看護援助論	2春	2			2 1		2 1		1			教員退職及び採用による増減(27) 教員採用による担当者増(28)
		慢性看護援助論	2春	2			1	1	1	1	1	1		教員退職による担当者減(26) 教員採用による担当者増(27)
		がん看護援助論（含む終末期）	2秋	1			1		1	1	1	2		教員退職による担当者減(26) 担当教員の昇格(27)
		急性・慢性看護技術演習	2秋	1			3 1	1	3 2 1		2 3			教員退職による担当者減(26) 教員採用による担当者増(28)
		急性看護学実習	3通・4春	3			2 1				2 1 2			教員退職及び採用による増減(27) 教員採用による担当者増(28)
		慢性看護学実習	3通・4春	3			1	1	1	1	1			教員退職による担当者減(26) 教員採用による担当者増(27)
		精神健康看護学概論	2秋 2春	2			1	1	1					教員退職の為 後任予定 西本 美和 平成27年6月教員審査予定(27) 教員採用による担当者変更(28)
		精神看護援助論	2秋	2			1	1	1 1	1	1	1	1	昇格による職位の変更(26) 教員採用による担当者増(28)
		精神看護学実習	3通・4春	2			1	1	1 1	1	1	1	1	昇格による職位の変更(26) 教員採用による担当者増(28)
	家族支援看護学	小児健康看護学概論	2春	2			1							担当教員退職のため、兼任教員による対応 講師 法橋尚宏(28)
		小児看護援助論	2夏 2秋	2			1		1					教員退職の為担当者の追加(28) 後任予定 平成28年7月 岸川亜矢 平成28年10月 本田正也 教員退職の為非常勤対応(28) 開講時期を変更

専門科目	家族支援看護学	小児看護学実習	3通・4春	2			+	+	3		兼2	教員退職による担当者減(26) 教員退職の為担当者の追加(28) 後任予定 平成28年7月 岸川亜矢 平成28年10月 本田正也		
		母性健康看護学概論	2春	2					2	+	兼1	担当者の追加(26)		
		母性看護援助論	2秋	2					2	+	兼1	担当者の追加(26) 教員退職による担当者減(27)		
		母性看護学実習	3通・4春	2					2	+		教員退職及び採用による増減(27)		
		基礎助産学	2秋	2					2	+		担当者の追加(26)		
		助産診断技術学Ⅰ	3冬	2					2	+	兼1	教員退職による担当者減(27) 教員退職及び採用による増減(28)		
		助産診断技術学Ⅱ	4春	4					2	+		教員退職による担当者減(27) 教員退職及び採用による増減(28)		
		助産管理	3冬	1					2	+		教員退職及び採用による増減(28)		
		助産学実習	4通	7					2	+		教員退職及び採用による増減(28)		
	生活支援看護学	老年健康看護学概論	2春	2					1					
		老年看護援助論	2秋	2					1	1	1	1	充実を図るため担当者の増(28)	
		老年看護学実習	3通・4春	3					1	1	1	+	教員退職による担当者減(26) 充実を図るため担当者の増(28)	
		在宅看護学概論	2春	2					+			兼1	教員退職による担当者減 退職した青木菜穂子准教授が 非常勤講師にて対応 平成27年度中に採用するため公募中 (27)	
		在宅看護援助論	2秋	2					+	1	1		教員退職及び採用による増減(27)	
		在宅看護学実習	3通・4春	1					+	2	1	+	教員退職による担当者減(26) 教員退職による担当者減(27)	
		公衆衛生看護学概論	2春 2夏 2春	2					1				当該科目を担当しうる非常勤教員に て、夏学期の開講を予定している(26) ) 専任教員着任のため、開講時期を修 正した(27)	
		個人・家族・集団・組織の支援活動論	3冬	2					1	+				教員退職及び採用による増減(27)
		公衆衛生看護活動展開演習	4春	3					1	+	2	1	+	教員退職による担当者減(26) 教員退職及び採用による増減(27) 教員採用による担当者増(28)
		公衆衛生看護管理論	4春	2					1	+	2	1		教員退職による担当者減(26) 教員退職及び採用による増減(27)
		公衆衛生看護学実習	4通	4					1	+	2	+	+	教員退職による担当者減(26) 教員退職及び採用による増減(27) 教員採用による担当者増(28)
	総合看護	代替療法看護論	4春	1									兼1	
		災害看護論	4夏	1									兼1	
		国際看護論	3冬	1					1					
		看護研究方法	4春	2					8	+	7			教員退職及び採用による増減(27)
		実践看護学特演	4通	3					8	+	3			教員退職及び採用による増減(27) 教員退職及び採用による増減(28)
		統合看護実習	4春	4					8	+	7	5	2	教育内容の充実を図るため担当者の 増(27) 充実を図るため担当者の増(28)
		卒業研究	4通	4					8	+	7			教員採用による増(27) 充実を図るため担当者の増(28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 58	科目 64	科目 -	科目 122	科目 58 [ 0 ]	科目 63 [△1]	科目 - [ - ]	科目 121 [△1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	中国語Ⅲ	2単位	2春	一般	選択	全学共通科目の見直しによる科目の廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

中国語Ⅲについては、全学的な共通科目の見直しによる科目の廃止である。学生の履修にあたっては、履修ガイダンスならびに、教務における履修指導などによって周知をはかり、混乱をきたさないように配慮している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	9,150.59 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	9,150.59 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	48,543.25 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	48,543.25 m <sup>2</sup>				
	小 計	57,693.84 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	57,693.84 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	25,068.46 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	25,068.46 m <sup>2</sup>				
	合 計	82,762.3 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	82,762.3 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	31,536.95 m <sup>2</sup> ( 31,536.95 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	23 室	44 室	16 室	5 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	保健医療学部看護学科		26 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育・研究の充実を図るため、図書及び学術雑誌を増加(25)	
	保健医療学部看護学科	12,111 [551] (8,493 [472]) (7,611 [431])	55(18) 44 [17] 48(18) <del>44 [17]</del>	3,121 [2,164] (3,121 [2,164])	248 (248)	6,348 (6,348)	62 (62)		
	計	12,111 [551] (8,493 [472]) (7,611 [431])	55(18) 44 [17] 48(18) <del>44 [17]</del>	3,121 [2,164] (3,121 [2,164])	248 (248)	6348 (6,348)	62 (62)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		収納冊数増を図るため図書館面積の増 閲覧スペースのレイアウト変更による座席数減(25)		
	2,047.93 1,939.70m <sup>2</sup>		291 307		190,215 184,444				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,404.40 m <sup>2</sup>		テニスコート5面			-			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は開設前年度予算の一部を経年による図書購入費に充当(25) 教育の充実を図るため、開設年度の設備購入費を増加(25)
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	47,448 54,200千円	2,150 16,220千円	1,838 13,720千円	
		共同研究費等	8,425千円	8,425千円	設備購入費	174,437千円	700 400千円	400千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	関西国際大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
教育福祉学科	4	150	-	600	学士 (教育福祉学)	1.12	平成19年度	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
英語教育学科	4	50	-	200	学士 (英語学)	0.88	平成19年度		
人間科学部									
経営学科	4	100	3年次20	440	学士 (経営学)	0.86	平成23年度	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
人間心理学科	4	125	-	500	学士 (行動科学)	0.88	平成19年度		
保健医療学部									
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.19	平成25年度		
大学の名称	関西国際大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
人間行動学研究科									
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士 (人間行動学)	0.37	平成17年度	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士 (教育学)	0.37	平成26年度	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
看護学研究科									
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	1.00	平成27年度	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	公衆衛生看護学選択分野及び助産看護学選択分野の選抜に関して、教育効果の向上や学生の目的意識の明確化に配慮し、選抜時期の早期化や実習時期の調整等に努めること。	留意事項 公衆衛生看護学選択分野及び助産看護学選択分野の選抜に関しては、教育効果の向上を高め学生の目的意識を明確にした上で、選抜時期は3年次看護学実習終了後となる4年次4月初旬に、選抜方法は学生の明確な目的意識と1～3年次までの専門科目の成績評価に基づく選抜であることを各学年4月ガイダンスで説明する。特に、3年次の4月ガイダンスにおいては、選択領域の専門性および人数制限の理由を学生が理解できるよう十分な説明を行うこととしている。 4月に実施した初年次ガイダンスで、公衆衛生看護学選択分野及び助産看護学選択分野の選抜方法について実施した。また、現在はアドバイザー（担当教員）が学生と個別面談を行い、将来の進路について動機や目的意識を把握している段階である。 (25)	
	実習指導者の位置づけ・役割が非常に重要であるため、適切な採用及び役割の明確化に努めること。	留意事項 1. 実習指導体制 実習指導は、基本的に実習科目の担当責任者（教授・准教授・講師・助教）が行うこととし、同時に臨地現場の実習指導者と協働する。  2. 実習指導者の採用基準 実習指導者の採用は、実習施設の看護管理者が推薦した者であり、原則、臨床現場でリーダー業務の経験を持ち、看護学生への教育の資質があると評価された者である。また、原則、本学で主催する臨床指導者研修に参加する者としている。  2. 実習指導者の役割 1) 大学の教育目標および実習目標を理解し、看護専門職者への周知を図り、実習環境および指導体制を整える。 2) 大学が提示した受持患者の要件に基づき、受持患者の選定を行い、説明と同意を得る。 3) 患者ケアに責任を持ち、患者の安全・安楽を守る立場で、学生の行動計画、看護計画を確認し、教育的配慮をもって指導・助言を行う。 4) 看護実践モデルとしての役割を担い、学生と看護実践場面を共有する。 5) 学生個人の学習段階に則した指導方法・内容について、教員と情報交換を図り協働して指導にあたる。 (25)	
設置計画履行状況調査時 (平成26年4月)	保健医療学部看護学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項 平成26年度入試においては、入学者数が94人となっており、入学定員の適正化を図っている。(26)	
設置計画履行状況調査時 (平成27年4月)	なし		

## 7 その他全般的事項

### <保健医療学部看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門及びキャリア教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD活動は教育開発委員会が中心になり進めている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。

###### c 委員会の審議事項等

- ・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項
- ・ 授業のアンケートに関する事項
- ・ シラバスに関する事項
- ・ FD及びSDに関する事項
- ・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・ 関西国際大学における教育の方向性についての共有
- ・ 学期の主題に関する研修
- ・ アドバイジング
- ・ IRデータによる現状把握



b 実施方法

- ・全学FDにおけるワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等

c 開催状況

(2015年度)

- ・第1回 (8/19・20) 「深い学び」を実現する教育実践の構築
- ・第2回 (9/17) 「深い学び」を実現する教育実践の構築
- ・第3回 (2/18) 「価値の発見」を実現する教育～3つのポリシーの理解と共有を基盤として～

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・2015年度に主として取り組んだ、学期ごとの主題設定については各学科で導入している。また、IRデータによる本学の教育の強み・弱みについては、全員で共有し、各学科においてそれを踏まえた取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケートは、学期末及び学期の中間時期に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

懸案であった定員超過については是正されてきている。教員の離職が多いことから、早急に教員組織を立て直すことが求められる。入学者については安定的に確保できており、地域的にも北播磨地域からの志願者が増加していることから、設置の目的である「北播磨地域での看護専門職者の育成」という目的は達せられる見込みである。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成28年5月30日 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開  
・自己点検・評価報告書の刊行

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、平成28年3月8日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている。」と認定された。再評価については、現状において未定であるが、次回の評価に準備を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成28年7月1日 )